

# 1 業務概要

## 1.1 業務の背景と目的

交通事故による被害・損失の経済的価値を、データに基づき客観的、定量的に明らかにすることにより、国民の交通安全対策の重要性に対する理解を深めるとともに、今後の交通安全対策の重点化・効率化の検討に際しての基礎資料とする。

平成 22、23 年に実施した前回の「交通事故による被害・損失の経済的価値」に関する調査（以下、前回調査という。）において、死傷損失<sup>1</sup>の算定方法は負傷の程度の違いにより算定結果に課題が生じている。そのため、今回の調査においては、当該課題の整理及び解決策の検討を行うと共に、交通事故による被害・損失の経済的分析を行うことを目的とする。

## 1.2 業務の構成

本業務の構成は、以下のとおりであり、業務全体の流れは図 1.2-1 のとおりである。

---

<sup>1</sup> 「非金銭的損失」のうち、交通事故の発生により、被害者が死亡あるいは負傷することによって、被害者本人が被る痛み、苦しみ、悲しみ、生活の質の低下及び生きる喜びを全くあるいは十分に享受できなくなる損失のこと。

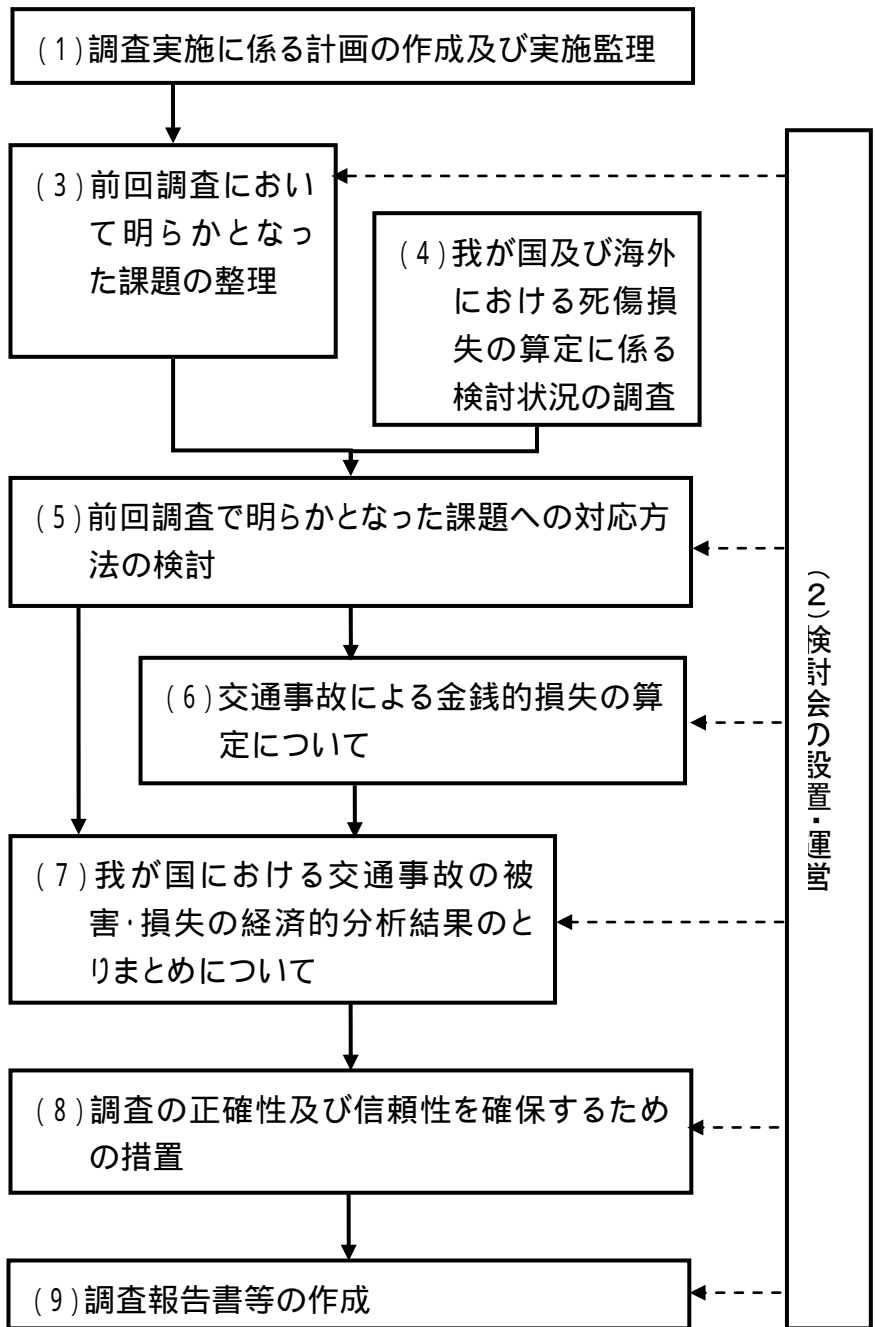


図 1.2-1 業務の実施フロー（全体）